

本校沿革の概要

明治 6 四天王寺内に塔世学校を設立。
明治 8 上浜町一乗寺内に大部田学校を創立。
明治 13 下部田に校舎を新築、立誠小学校と称する。
明治 15 大部田学校を到達学校と改称し、校舎新築。
明治 18 塔世村字清原へ校舎を新築。
明治 20 立誠尋常小学校と校名を変更。
明治 25 大部田簡易科授業所を合併。分教所とする。
明治 37 大部田分教所を廃止。
明治 41 津市第三尋常小学校と校名変更。
明治 42 津市第三尋常小学校校舎落成式。
大正 6 津市立誠尋常小学校と校名変更。
大正 9 津市立誠尋常高等小学校と校名変更。
昭和 16 津市立誠国民学校と改称。
昭和 22 津市立立誠小学校と校名変更。
昭和 28 立誠小を二分し、南立誠小、北立誠小に。
新校舎未竣工のため津駅前旧校舎を使用。
江戸橋一丁目に新校舎竣工、移転。
昭和 29 玄関前に築山を造成完成する。
昭和 31 運動場埋め立て工事完了する。
昭和 38 プール竣工式を行う。
昭和 46 市教委指定研究「国語科作文教育」の研究発表を行う。
昭和 49 創立 20 周年記念式を挙げる。
昭和 53 体育館完成する。
昭和 58 創立 30 周年記念式を挙げる。
昭和 59 市教委指定研究「特別活動」の研究発表。
新プール完成する。
平成 4 体育倉庫完成する。
平成 11 南校舎 1 階にコミュニティールーム設置
平成 11 ロシア トムスク市と交流。
平成 12 全 P 研究大会「国際理解」分科会で発表。
平成 12 市指定研究「国際理解教育」の研究発表。
平成 14 校舎耐震工事完了する。
平成 15 創立 50 周年記念式典を行う。
平成 16 津市教育委員会「小学校における英会話能力向上プラン」モデル校
平成 17 津市教育委員会「小学校における英会話向上プラン」モデル校（～H19）
文部科学省「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」モデル校（～H18）
平成 17 校舎第 1 棟南館第 1 期大規模改修完了
平成 18 校舎北第 2 棟北館第 2 期大規模改修完了
平成 19 国立教育政策研究所「小学校における英語教育の在り方に関する調査研究」研究協力校、文部科学省「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」拠点校（～H20）
平成 23 津市社会福祉協議会社会福祉功労団体表彰。
平成 23 体育館耐震工事完了する。
平成 25 給食室北側舗装工事完了する。
平成 26 創立 60 周年を記念し、航空写真撮影を行う。
平成 26 栗真町屋海岸の美化運動に対し、国土交通省より表彰される。
平成 27 子どもの読書活動優秀実践校
文部科学大臣表彰を受賞する。
平成 29 第 38 回東海地区学校図書館研究大会で発表
平成 30 「元気アップ推進校」表彰を受ける。
平成 30 市教委特化研究プロジェクト「英語」の研究
令和元 市教委特化研究プロジェクト「体力向上」の研究
令和 3 市教委特化研究プロジェクト「ICTの活用」の研究

地域・学校の概要

1 地域の概要

校区は東を伊勢湾に面し、志登茂川の下流及び河口流域に位置して、校区の中央部を毛無川と合流した志登茂川が東流する。

校区中央部を国道 23 号が南北に、西部を JR 紀勢線、伊勢鉄道、および近鉄名古屋線が走り、交通量のはげしい地域を児童は通学している。現在、江戸橋の架け替え工事が行われているため、児童は 23 号線沿いの歩道を通学している。

校区には江戸時代から続く伊勢街道及び伊勢別街道沿いの古くからの街道集落とアパート、マンション、三重大学などの新しい建物とが並び、新旧の地域が混在して市街地を構成している。近年は、オーミケンシ工場跡に大規模な住宅団地が造成され、児童数が増加している。

住民の気風は明るく、学校教育にも協力的であり、従って子どもに寄せる期待も大きく、地域の諸活動も活発である。

2 学校の概要

昭和 50 年前半までは、18 学級で児童数は 600 名を超えていたが、以降、児童数は減少し、平成 19 年には児童数が 242 名となった。住宅団地造成にともない、児童数は増加傾向にあり、本年度は、23 学級で児童数が 468 名となった。

平成 10 年度に津市の外国籍児童の日本語指導拠点校に指定され、多くの外国籍児童が在籍することとなったが、平成 12 年度の 7ヶ国 32 名を最高にして減少傾向にある。現在は外国籍につながる 7ヶ国 18 名の在籍となっている。

児童は素直で、明るく子どもらしい屈託のない良さを持っており、様々な活動に意欲的である。

校歌

宮沢威博 作詞 鈴木比呂司 作曲

- 1 風さわやかな 志登茂川
あかるく育つ よい子らが
希望に胸を ふくらませ
はるかに仰ぐ 経ヶ峰
あゝ北立誠 ほこりかがやく わが母校
- 2 伊勢の海への 白い砂
色美しい 貝殻に
えがく誠の 絵文字は
学ぶよい子の みおつくし
あゝ北立誠 こころゆたかな わが母校
- 3 津城の杜を 遠く見て
六年の日月 むつみあい
明日の日本を きずこうと
ひたすらはげむ よい子たち
あゝ北立誠 いのちあふれる わが母

